

## 平成23年京都市の合計特殊出生率

平成23年の京都市独自集計の合計特殊出生率を算出しましたので、ご紹介します。

### ○ はじめに

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものです。

合計特殊出生率には、期間合計特殊出生率と、コーホート合計特殊出生率の2種類がありますが、ここでは、通常、年次比較や地域比較に用いられる期間合計特殊出生率について紹介します。(期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率については、最終ページの「参考」をご覧ください。)

本市では、合計特殊出生率の算出に使用する基礎資料として、出生数は厚生労働省「人口動態調査(平成23年)」の母の年齢(5歳階級)別出生数、女性人口は住民基本台帳の年齢(5歳階級)別女性人口(各年10月1日時点)を用いています。

### 1 平成23年の合計特殊出生率

平成23年の京都市の合計特殊出生率は1.21で、前年と横ばいになりました。

出生数は、前回いったん増加したものの、今回はわずかに減少に転じました。また、女性人口は引き続き減少しているため、合計特殊出生率は前年に引き続き1.2を上回りました。

表-1 合計特殊出生率の計算結果

母の年齢階級	出生数(人)		女性人口(人)		合計特殊出生率	
	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年
合計	11,556	11,252	311,418	310,239	1.213672	1.206105
15~19歳	129	123	29,968	30,222	0.021523	0.020349
20~24歳	957	850	39,141	38,164	0.122250	0.111361
25~29歳	3,071	3,037	44,896	44,192	0.342013	0.343614
30~34歳	4,214	4,130	48,304	46,460	0.436196	0.444468
35~39歳	2,712	2,623	55,684	54,850	0.243517	0.239107
40~44歳	462	475	49,223	52,055	0.046929	0.045625
45~49歳	11	14	44,202	44,296	0.001244	0.001580

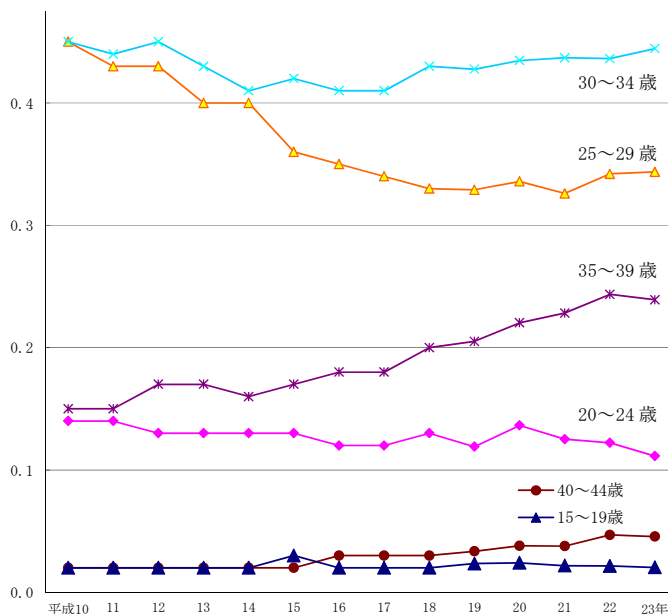
### 2 母の年齢(5歳階級)別合計特殊出生率

合計特殊出生率を、母の年齢(5歳階級)別に平成22年と比べると、25歳から29歳、30歳から34歳、45歳から49歳では上昇し、他の年齢階級では低下しました。

このうち、10歳代では、横ばい傾向が続いています。20歳代については、20歳から24歳では3年連続で低下している一方、25歳から29歳では2年連続で上昇しています。近年、出生数が最も多い30歳から34歳では、出生数自体は減少したものの、同世代の女性人口の減少率が大きいため、出生率はわずかに上昇しました。35歳から39歳では9年ぶりに低下に転じており、出生数をみると、実に16年ぶりに減少しました。40歳から44歳では、ゆるやかな上昇傾向にありますが、今回はわずかに低下しました。

また、平成9年以降、15年連続で、30歳から34歳までの出生率が最も高くなっています。一方、平成8年に最も高かった25歳から29歳までの出生率は、近年横ばい傾向が続いています。(図-1、次ページ表-2参照)

図-1 母の年齢(5歳階級)別合計特殊出生率の推移



注) 45~49歳は数値が小さいため省略しています。

表－２ 母の年齢（５歳階級）別合計特殊出生率の推移

年齢階級	平成 10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
合計	1.23	1.20	1.21	1.16	1.15	1.14	1.12	1.11	1.14	1.14	1.19	1.18	1.21	<b>1.21</b>
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	<b>0.02</b>
20～24歳	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12	0.12	0.13	0.12	0.14	0.13	0.12	<b>0.11</b>
25～29歳	0.45	0.43	0.43	0.40	0.40	0.36	0.35	0.34	0.33	0.33	0.34	0.33	0.34	<b>0.34</b>
30～34歳	0.45	0.44	0.45	0.43	0.41	0.42	0.41	0.41	0.43	0.43	0.43	0.44	0.44	<b>0.44</b>
35～39歳	0.15	0.15	0.17	0.17	0.16	0.17	0.18	0.18	0.20	0.21	0.22	0.23	0.24	<b>0.24</b>
40～44歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05	<b>0.05</b>
45～49歳	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	<b>0.00</b>

### 3 行政区別合計特殊出生率

合計特殊出生率を行政区別にみると、最も高いのは10年連続して南区で1.42、次いで山科区の1.37、伏見区の1.34の順となっています。一方、最も低いのは東山区で0.94、次いで中京区の0.97、上京区の1.03の順となっています。また、京都市の1.21を上回る行政区は、山科区、南区、右京区、西京区、伏見区の5行政区となっており、周辺区で高くなっています。

前年と比べると、東山区で0.12ポイント、山科区及び下京区で0.06ポイント、左京区で0.02ポイント、上京区で0.01ポイント上昇しましたが、西京区で0.07ポイント、中京区及び右京区で0.04ポイント、北区で0.02ポイント、伏見区で0.01ポイント低下しており、南区のみ横ばいとなっています。

表－３ 行政区別の合計特殊出生率

	市計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見
合計特殊出生率												
平成11年	1.20	1.08	0.82	1.03	0.97	0.77	1.25	1.00	1.46	1.14	1.46	1.42
12年	1.21	1.03	0.87	1.08	1.00	0.81	1.35	1.03	1.40	1.29	1.37	1.36
13年	1.16	1.06	0.90	1.01	0.93	0.78	1.21	0.93	1.34	1.17	1.33	1.37
14年	1.15	1.04	0.87	1.02	0.96	0.72	1.21	1.06	1.37	1.21	1.35	1.28
15年	1.14	1.02	0.83	1.01	0.92	0.73	1.22	1.03	1.39	1.18	1.26	1.29
16年	1.12	1.03	0.89	0.98	0.84	0.66	1.24	1.00	1.32	1.17	1.25	1.25
17年	1.11	1.05	0.90	1.01	0.93	0.69	1.15	0.95	1.38	1.18	1.25	1.23
18年	1.14	1.10	0.90	1.04	0.87	0.79	1.20	1.05	1.33	1.19	1.28	1.28
19年	1.14	1.13	0.84	1.07	0.92	0.84	1.22	0.99	1.36	1.18	1.24	1.26
20年	1.19	1.15	0.99	1.11	0.98	0.69	1.24	1.00	1.48	1.23	1.34	1.31
21年	1.18	1.11	0.92	1.16	0.94	0.79	1.25	0.93	1.39	1.23	1.31	1.33
22年	1.21	1.13	1.02	1.14	1.01	0.82	1.31	1.00	1.42	1.27	1.33	1.35
23年	<b>1.21</b>	<b>1.11</b>	<b>1.03</b>	<b>1.16</b>	<b>0.97</b>	<b>0.94</b>	<b>1.37</b>	<b>1.06</b>	<b>1.42</b>	<b>1.23</b>	<b>1.26</b>	<b>1.34</b>
15～19歳	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	0.01	0.01	0.02	0.01	0.04
20～24歳	0.11	0.07	0.05	0.06	0.08	0.09	0.15	0.09	0.15	0.11	0.10	0.18
25～29歳	0.34	0.31	0.28	0.30	0.24	0.20	0.46	0.23	0.42	0.33	0.40	0.42
30～34歳	0.44	0.42	0.42	0.45	0.34	0.34	0.47	0.42	0.56	0.48	0.45	0.44
35～39歳	0.24	0.25	0.23	0.27	0.25	0.24	0.22	0.26	0.22	0.24	0.26	0.22
40～44歳	0.05	0.04	0.05	0.07	0.05	0.04	0.05	0.06	0.04	0.04	0.03	0.04
45～49歳	0.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
母の年齢（５歳階級）別出生数（人）												
平成23年	<b>11,252</b>	<b>732</b>	<b>542</b>	<b>1,130</b>	<b>774</b>	<b>225</b>	<b>1,154</b>	<b>691</b>	<b>883</b>	<b>1,528</b>	<b>1,261</b>	<b>2,332</b>
15～19歳	123	5	2	9	3	3	17	3	5	20	10	46
20～24歳	850	43	21	48	44	20	100	41	77	117	80	259
25～29歳	3,037	176	137	261	189	48	362	166	260	385	363	690
30～34歳	4,130	268	224	430	280	83	394	279	358	588	451	775
35～39歳	2,623	204	131	306	219	59	234	169	157	360	316	468
40～44歳	475	35	27	73	37	11	47	31	26	57	40	91
45～49歳	14	1	—	3	2	1	—	2	—	1	1	3

## 4 全国及び京都府との合計特殊出生率の比較

平成23年の全国の合計特殊出生率は1.39、京都府の合計特殊出生率は1.25となっています。前年と比べると、全国は横ばい、京都府は0.03ポイント低下となっています。

京都市の合計特殊出生率1.21と比べると、全国では0.18ポイント、京都府では0.04ポイント、それぞれ京都市が低くなっています。

表－4 京都市、京都府、全国の合計特殊出生率の推移

年次	出生数(人) a)			合計特殊出生率 b)		
	京都市 c)	京都府	全国	京都市 c)	京都府	全国
昭和45年	25,240	41,235	1,934,239	1.91	2.02	2.13
50年	22,457	39,921	1,901,440	1.66	1.81	1.91
55年	17,619	32,139	1,576,889	1.54	1.67	1.75
60年	15,643	28,479	1,431,577	1.55	1.68	1.76
平成元年	13,590	24,855	1,246,802	1.41	1.46	1.57
2年	13,386	24,209	1,221,585	1.38	1.48	1.54
3年	12,945	23,487	1,223,245	1.34	1.39	1.53
4年	13,113	23,838	1,208,989	1.34	1.38	1.50
5年	12,611	23,082	1,188,282	1.27	1.32	1.46
6年	13,352	24,245	1,238,328	1.33	1.37	1.50
7年	12,673	23,219	1,187,064	1.25	1.33	1.42
8年	13,204	24,023	1,206,555	1.27	1.30	1.43
9年	12,946	23,595	1,191,665	1.23	1.26	1.39
10年	13,144	24,312	1,203,147	1.23	1.26	1.38
11年	12,868	23,831	1,177,669	1.20	1.22	1.34
12年	13,002	23,997	1,190,547	1.21	1.28	1.36
13年	12,513	23,364	1,170,662	1.16	1.20	1.33
14年	12,386	22,859	1,153,855	1.15	1.17	1.32
15年	12,072	22,371	1,123,610	1.14	1.15	1.29
16年	11,764	22,066	1,110,721	1.12	1.14	1.29
17年	11,612	21,560	1,062,530	1.11	1.18	1.26
18年	11,845	22,100	1,092,674	1.14	1.19	1.32
19年	11,534	21,597	1,089,818	1.14	1.18	1.34
20年	11,789	21,842	1,091,156	1.19	1.22	1.37
21年	11,446	21,059	1,070,035	1.18	1.20	1.37
22年	11,556	21,234	1,071,304	1.21	1.28	1.39
<b>23年</b>	<b>11,252</b>	<b>20,707</b>	<b>1,050,806</b>	<b>1.21</b>	<b>1.25</b>	<b>1.39</b>

a) 出生数は厚生労働省「人口動態統計」によります。

b) 算出に用いる女性人口について、京都市は住民基本台帳人口の女性人口（昭和60年以前は国勢調査による日本人女性人口）を、京都府及び全国の国勢調査実施年は国勢調査による日本人女性人口、その他の年は京都府が推計人口による女性人口、全国は推計人口による日本人女性人口を使用しています。

c) 京都市の出生数には、平成17年3月までの京北町分を含みません。なお、合計特殊出生率は、当時の市域で算出しています。また、上記b)に基づき、合計特殊出生率については、京都市による独自集計の数値を掲載しています。

## 参考

## 1 「期間合計特殊出生率」と「コーホート合計特殊出生率」について

「期間合計特殊出生率」は、ある期間（1年間）の出生状況に着目して、その年における各年齢（15歳から49歳まで）の女性の出生率を合計したものです。

「コーホート合計特殊出生率」は、ある世代の出生状況に着目して、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15歳から49歳まで）の出生率を積み上げたもので、「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」を意味する出生率です。ただし、この出生率はその世代が50歳になるまで得られないため、通常、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている合計特殊出生率は、「期間合計特殊出生率」により算出されています。

## 2 京都市の合計特殊出生率の算出方法

年齢（5歳階級）ごとに母の年齢別出生数を住民基本台帳による年齢別女性人口で除したものを5倍にした数値を足し上げています。合計特殊出生率は、年齢（各歳）ごとの出生率を足し上げる仕組みであることから、5歳階級で計算する場合は当該年齢階級の平均値を5倍しています。